

2020年12月

あさかぜ保育園子育て支援だより

早いものですね。2020年も一ヶ月あまりとなりました。

今年は、コロナに始まりコロナに終わる年でした。ワクチンが出来ていないウイルスで国・自治体・市町と感染対策に追われ、園も試行錯誤の2020年だったと思います。現在、第三波がきているとも言われています。気をゆるめることなく今後も感染対策を中心に子どもの保育を行っていきたくと思います。

今回のおたよりは、些細な日常の事です。(恥ずかしながら我が家での出来事です。)ある日のこと、家の掃除を娘(すいぶん年齢はいますが・・娘に怒られそうです)と一緒に手分けをして行っていました。一つ一つ教えたわけではありませんが、私が気になっている所を娘が言わなくてもしています。

母「ここは、すませた?」「ここは?ここは?」と矢つぎ早に言いました。

娘「母さん、見ていってる?」「ここも、ここも全てしました!」

疑うわけではありませんが、確認をする嫌みな母。

母の心の声「う〜ん、私のやる事を見ているな」ちょっと感心。

しかし、そのまま母は何も言わず掃除を続行。

娘の顔を見ると、ちょっとムツとしています。

母の心の声「あっ!怒ってる・・」でも何も言わずお掃除続行。

娘「かあさん、疑ったでしょう。嫌な気持ちでしたよ。いつも、そうでしょ。」

娘に言われハッとしました。日頃から「ありがとう。ごめんね。」と気持ちを言葉に出していないんです。娘だから分かってくれるだろうとあま〜い考えです。(本当は感謝もしているし、謝罪の気持ちもあるんですよ)

年齢に関係なく、一言「ありがとう」「疑ってごめんね」等など、言葉にするって大切だなんていまさらながら反省しきりです。

それと掃除ひとつでも、一緒にするって大切ですね。親の姿をしっかり見ていることが掃除をする娘の姿でわかりました。(私以上に綺麗にしています。母感激!)

「子は親の鏡」と言いますがその反対「親は子の鏡」も言えますね。

我が家のちょっとしたエピソードですが、保護者の皆さまも自分の子育てを何でもない日常から振り返ってみてはどうでしょうか。

例えば→・そっせんして挨拶をしていますか ・一緒に何かしていますか?

・思い込みで叱っていませんか?・間違った時「ごめんね」と言えていますか?

・「ありがとう」「たすかったよ」「〇〇ちゃん大好き」 等など

親の何気ない表情や振る舞いが子どもに良い環境を与えることになると思います。

例えば親が笑顔でいることも、その一つかもしれませんね。

*子どもたち保護者の皆さまにとって来年も良い年になりますように!

職員一同願っております。